

豊かな人間関係づくり 実践プログラム



千葉県マスコットキャラクター

「チーバくん」

授業や行事等を通して築く“人間関係”。
でも、“人間関係づくり”について教えるのって意外とむずかしい…。

“人間関係づくり”に必要な力、
あなたの授業で育みましょう。



友だちとケンカをした。
そのときはカッカしてわからなかったけど、
相手は、自分とはちがう感情だったのかも。
あれは、自分の思い込みだったのかもしれない。
自分の思い、考えはきちんと言葉で伝えよう。

「そうだ…、あの授業で教わったじゃないか。」



プログラムの概要

- 1学年につき4時間の授業展開 × 小学校1年生～中学校3年生まで9年間分
- 1時間ごとに指導案、授業台本（細案）、教材を用意

プログラムの特色

- いじめ予防や互いに思いやることのできる集団づくりに有効

プログラムの入手方法

最新版（第3版）を千葉県教育委員会ホームページからダウンロード!!

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/shou-chuu/omoiyariplan/download.html>

豊かな人間関係 千葉県

検索

千葉県教育委員会

小中9年間の 体系的カリキュラム

小学校

1・2年生

本プログラムは、9年間を通して人間関係づくりには欠かせない行動の仕方や物事の考え方を少しずつ学んでいきます。その学年のめざす児童・生徒像に近づけていけるよう、取り組んでみましょう。



小学校

3・4年生

コミュニケーション1・2
話し方・聞き方の基礎で人を思う姿勢を



感情1・2
人の感情を考え、自分の感情も大切に

小学校

5年生

問題解決

みんなと助け合いながら問題解決に取り組む



児童生徒の感想

- ・「ありがとう」と言われると、いい気持ちになって、もっと友だちに何かしてあげたくなりました。(小学校2年生)
- ・体のへんかを見て人の気持ちを考えることは、これからの生活の中でもできると思います！なぜかという、授業で習う前からしていたからです。これからもっと生活の中でできるように心がけようと思います。(小学校3年生)
- ・5年生のはじめは「問題解決なんてできちゃうよー。」と思ったけど、実際やってみるととても時間がかかりました。問題に出会ったら、今までやった授業を思い出して、じっくりと考えようと思います。これからお母さんや先生、友だちにも授業で習ったようにしていきたいと思います。妹にも教えたいと思います！(小学校5年生)
- ・何気ない毎日に目標を立てて過ごすことの大切さを学びました。何となくだけど、自分でしっかり頑張っていこうと思いました。(中学校2年生)。
- ・こういう方法もあるのだと思いました。みんなに意見をもらって感謝!!(中学校3年生)

小学校

6年生



コミュニケーション3
相手への思いやりと自分の発言に責任を持つ

中学校

1年生



クリティカル・シンキング
物事を多面的な角度から考えられるように

中学校

2年生



セルフ・コントロール
自分と向き合い、自分を管理する

中学校

3年生



意思決定
自分の意思を持って、周りの人と決める

教師の感想

- はじめは「こんなことを学校で教えるの？今までだって、日常生活の中で指導してきたことじゃない？」と思いました。しかし、実際に授業をしてみると、大人でもできないことや実はしたことがないことを、順序立ててわかりやすく、また楽しく学習させる授業であることがわかりました。
- はじめはスキル面を重視しがちな授業なのだと思っていました。しかし、準備を進めていくうちに、“周りの人の気持ちを考えること”“自分を大切にすること”を考えさせながら、授業を進めることの大切さに気付かされました。
- 授業で教えた「人とかかわり方のエッセンス」を、実際に日常生活の中で実行するかどうかは本人次第かもしれません。しかし、授業で教えたキーワードを、教師がタイミングよく生徒に対して投げかけてみると意外と反応が返ってくるのでおもしろい。例えば「それは事実か？推測か？」とか、「自分に甘くなっていませんか？」などです。

よくある質問

Q：自分の学校では取り組んでいる学年とそうでない学年があるのですが、抜けた学年も実施すべきですか。

A：学校の実態に応じて柔軟な対応が可能です。もちろん、9年間、体系的に実施できればより効果的です。

Q：指導案、授業台本などをどのように活用すればよいですか。

A：はじめに指導計画で4時間の授業を見通してから、1時間ずつ指導案と教材を見てください。指導案だけで理解がむずかしいようであれば、授業台本を細案として見てください。実施された方からは、「台本があるので心強い」という声や、「台本を物語として読んで内容理解ができたので、その後、指導案で自分なりの授業ができた」との声が聞かれます。

Q：掲示用教材など、用意するのが大変ではないですか。

A：基本的に教材はすべて原本が用意されています（PDFファイルでダウンロード可能）。それらを拡大コピーすることができますし、はじめからご自身で作られる方もいます。ただし、1年目は少し作業量が多くなります。多くの学校は、教材を学年ごと、授業ごとにケースに保存して翌年も使っています。

Q：プリントなどの資料が多すぎて、実施するのが大変ではないですか。

A：授業をより効果的に行えるよう資料を作成してあります。子どもの実態に合わせて使用しましょう。

Q：学校の年間指導計画における位置付けについて教えてください。

A：学校、学級の実態に応じて適切に位置付けてください（特別活動等）。

Q：以前、この授業は「チーム・ティーチングで実施するように」と言われたのですが。

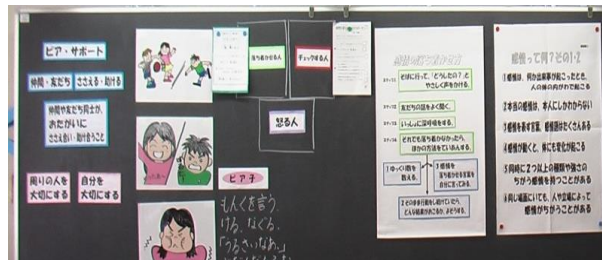
A：チーム・ティーチングで実施するとより効果的です。しかし、そうでなくても十分に効果をあげることがわかってきました。実態に応じて、柔軟な対応をお願いします。

Q：展開や教材の一部を自分なりに変えて実施してもよいのでしょうか。

A：子どもの実態に合わせて、課題設定や教材など、アレンジしていただいて結構です。



初任者研修の様子



板書例（小学校4年生）



日常生活に生かした掲示物

問合せ先

千葉県教育庁教育振興部学習指導課

☎043-223-4059



豊かな人間関係 千葉県

検索



